

～ 自信と誇りを持って行動できる生徒の育成 ～
学び考える生徒 思いやりのある生徒 進んで心身を鍛える生徒

滑中だより



令和6年3月1日発行 第13号 文責 校長 山崎 則枝

〇〇世代

Z世代、ゆとり世代、団塊世代、新人類など、その時代、時代で若者たちをひとくくりに呼ぶことがあります。



今の若者たちを指す『Z世代』とは、1990年代半ばから2000年代終わり頃、または2010年代始め頃までに生まれた世代のことだそうです。家庭にパソコンが本格的に普及し始めてから生まれた、真の意味でのデジタルネイティブ。ITリテラシーが高く、SNSを解して情報収集、情報発信、人とのつながりを得意とします。また、多様性を尊重し、環境問題や人種差別といった社会問題にも関心が高い傾向にあります。一方では、冒険しない、出世欲がないなど安定志向が強い傾向にあるとも言われています。（発祥は、アメリカの世代分類『ジェネレーションX』という言葉から派生しているようです。）

この〇〇世代などの世代をくくる言葉と内容（世代語、世代論）とは、誰が何のために名付けているのでしょうか。私たち大人は、若者が自分たちと異なる考え方や行動を共通して持つようになると世代語を登場させます。ちなみに、私はバブル世代と就職氷河期世代の狭間のような世代で、団塊ジュニア世代などとも呼ばれていました。いつの時代でも大人は自分たちを納得させるため、若者を〇〇世代とくくります。一方で若者は、「当たっているけど、全部そうだと決めつけないでほしい」「特徴が当てはまっても個人を見てほしい」と、思っています。時代と社会のありようは世代の意識をつくります。育っていく環境において生活様式や経済状況、教育方針など社会全体が変化していくのですから、その中で身に付く考え方や行動が異なってくるのは当たり前のことです。

しかし、それがメディアを通じて過剰に流され、くくりの言葉として決めつけるように使われることは危険だと思います。世代語・世代論には大人と若者にズレが生じます。そんな時、学校や職場で、教師や上司が「〇〇世代だから～だ」と決めつけ、納得してしまうのではなく、**お互いをどう理解するのが良いのか、視点やポイントを共有することが大切です。**私たち大人の「〇〇世代だから・・・」のラベリングは、若者たちの「どうせ〇〇世代だから・・・」とう自己ラベリングをもたらします。**重要なのは、そのラベルをきちんと剥がし、自分自身を生きることです。**

今、中学生の皆さんにも、今後、新たな世代語がつけられるかもしれません。しかし、大切なのは、皆さんがどういう時代と社会に生きているのか、その特徴と課題を正しく把握しながら、**世代語や世代論に振り回されることなく、その時代を生きる一人の人として、しっかりと自分を形成して生きることです。**

第62回卒業式に向けて

いよいよ3月15日(金)に卒業式が挙行されます。卒業生はもとより、保護者の方々にとって、格別な思いで来る日を待ち望んでいることと思います。また、この日をもって義務教育は修了となります。本人にとっての義務教育終了はもちろん、保護者の皆様にとっての義務も修了することとなります。大変お疲れさまでした。

【卒業式のお願い】

- ①卒業式への保護者参加は、各家庭2名迄お願いします。
 - ②保護者席は、事前の抽選で確定した指定席です。
 - ③状況により感染症予防をお願いします
 - ④体調不良や発熱がある場合は、入場はお控え下さい。
- ※駐車場は、本校グラウンドとなりますが、雨天時は使用できませんので御承知おき下さい。

さすがです！ 滑中生

○埼玉県理科教育研究発表会

最優秀賞 1年 山崎 花道

「電力不足の救世主 新たなエネルギー源を発見せよ！」

○法務省人権擁護局

第42回全国中学生人権作文コンクール感謝状

滑川中学校として長年取り組んできた人権作文について、感謝状をいただきました。これからも、相手も自分も大切にできる人権意識を身に付けられるように取り組んで参ります。

新年度に向けて

令和5年度も残り1か月となり、学校では令和6年度に向け準備を進めています。

今日、学校や教育に対する社会や保護者の意識など、学校教育を取り巻く環境は多様化しています。そのためには、学校として何に重点的に取り組み、どのような教育計画で本校が目指す生徒像の具現化を図るべきかを、校内で協議し、いただいた学校評価、生徒の状況、社会情勢等も踏まえ、十分に検討してまいりました。しかし、ここ数年はコロナ禍の対応のための教育計画の変更を行わざるを得ない状況で、改善ができずおりました。そこで、本年度は、教育計画を改善し、学校の教育活動の充実と質の向上につなげ、生徒の『生きる力の育成』をめざし、学力向上のための授業時数の確保や学校行事の精選、保護者の経済的負担の軽減などを踏まえた教育計画の改善検討を行ってまいりました。

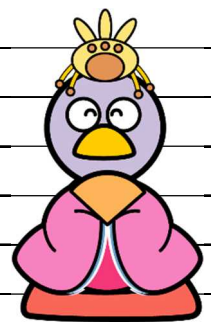
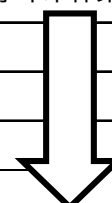
令和6年度につきましては、①社会体験チャレンジ事業の1学年への移行、②合唱コンクールの平日開催、③スキー教室の校外学習への変更を行います。また、上履きと体育館シューズを統一し、1足にしていきます。

学校では、それぞれの教育活動における目的を十分に踏まえ、改善してまいりました。

保護者・地域の皆様には、上記の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

3月行事予定

1	金	公立入学候補者発表
2	土	資源回収・制服リユース
3	日	北辰テスト(1、2年)
4	月	公立追検査
5	火	
6	水	公立追検査発表
7	木	
8	金	3年生を送る会 性に関する指導(3年・13:30-)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	3年給食最終日
13	水	
14	木	健全あいさつ 卒業式予行 卒業式準備
15	金	第62回卒業式
16	土	
17	日	
18	月	2年保護者会
19	火	1年保護者会
20	水	春分の日
21	木	短縮日課 学校運営協議会 放:委員会
22	金	短縮日課 給食最終日 小学校卒業式
23	土	
24	日	吹奏楽部定期演奏会
25	月	短縮日課
26	火	修了式
27	水	学年末休業日
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	



・滑川中学校 PTA 資源回収&制服リユース

3月2日(土) 9:00~

※雨天判定7:00 メール配信にてお知らせ
雨天でも制服リユースは実施します

・滑川中学校ホームページ

QRコード→

